

医療費分析結果報告書（概要）

- 令和4年度 -

【1 被保険者の状況】

○被保険者数（年度平均）は396,805人であり、前年度に比べて1.26%減少したが、組合員数は前年度に引き続き増加し、増加率は0.37%である。家族数は△2.95%と依然として減少が続いている。（1頁表-1）

組合健保は、前年度から被保険者数が0.42%、被扶養者数が△2.43%である。

○被保険者の年齢階級別割合では、50歳代が21.06%と最も高い。（2頁表-2）

組合健保と比較すると、15～24歳、50歳以降の年代で全国土木が高くなっている。

○平均年齢は、37.9歳（組合員45.9歳、家族29.8歳）である。

（2頁表-3）

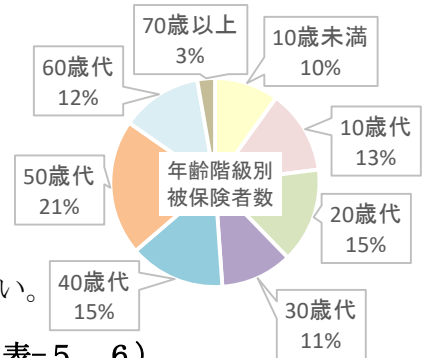
組合健保の平均年齢は35.9歳であり、全国土木が2.0歳高い。

○前期高齢者は30,079人であり、前年度に比べて0.08%減少し、加入率は7.58%となっている。（4頁表-4）

組合健保の加入率は3.54%であり、全国土木が4.04ポイント高い。

○扶養率は0.99人で、前年度に比べて3.38%減少している。（5頁表-5、6）

組合健保の扶養率は0.70人であるが、組合健保より扶養率が高い理由は、①組合員の男性割合が84.4%と高いため、②組合員と同一世帯であれば収入の多寡にかかわらず家族被保険者となるためと推察される。



【2 医療費の状況】

○総医療費は約816億円で、新型コロナウイルス感染拡大もあり前年度に比べて5.40%増加している。診療区分別の内訳は、医科入院外が43.49%と最多であり、組合員・家族別にみると、組合員（50.72%）が家族（49.28%）より1.44ポイント高い。（7頁表-7、8頁表-8 図-10）

○1人当たり医療費は、前年度に比べて6.75%増加している。診療区分別に前年度と比較すると次表のとおりである。（9頁表-9、12頁表-11）

特に医科入院外における「呼吸器系の疾患」及び「特殊目的用コード（新型コロナ）」に係る医療費の増加が大きく、増加額の6割弱を占める。（59頁）

区分	1人当たり医療費合計	医科入院	医科入院外	歯科	調剤	(医科入院外+調剤)
令和4年度	205,604円	53,082円	88,521円	22,637円	40,502円	129,023円
令和3年度	192,607円	51,743円	79,554円	22,093円	38,438円	117,991円
増減額	12,997円	1,339円	8,967円	544円	2,064円	11,032円
増減率	6.75%	2.59%	11.27%	2.46%	5.37%	9.35%

※合計には訪問看護療養費を含む。

○令和3年度の1人当たり医療費では、組合健保との差が23,098円（13.63%）あるが、本人割合、男女割合、年齢構成の影響を取り除くと、その差は1,310円（0.77%）となる。（10頁表-10）
その他の指標についても、構成要素を揃えると組合健保と概ね同水準となる。（13頁表-12）

※比較対象とする組合健保資料の公表時期の関係から令和3年度で比較した。

1人当たり医療費			本人割合、男女割合、年齢構成を揃えた1人当たり医療費		
全国土木	組合健保	差(率)	全国土木	組合健保	差(率)
192,607円	169,509円	23,098円(13.63%)	170,819円	169,509円	1,310円(0.77%)

【3 疾病の状況】

○疾病分類別に医療費（歯科の疾患を除く）を金額順にみると、入院では組合員、家族ともに「循環器系の疾患」（組合員 27.6 億円、家族 14.5 億円）が最も高い。入院外では組合員は「内分泌、栄養及び代謝疾患」（24.2 億円）、家族は「呼吸器系の疾患」（31.4 億円）が最も高い。（48 頁表-45 ～ 51 頁表-48）

各区分で金額が最も高い年齢階級と疾病分類は次のとおりである。

区 分	入 院			入 院 外		
	年齢階級	疾病分類	金 額	年齢階級	疾病分類	金 額
組合員	65 歳～69 歳	循環器系の疾患	5.8 億円	60 歳～64 歳	内分泌、栄養及び代謝疾患	4.9 億円
家 族	0 歳～4 歳	周産期に発生した病態	6.7 億円	0 歳～4 歳	呼吸器系の疾患	10.1 億円

○令和 3 年度の疾病分類別 1 人当たり医療費は、①循環器系の疾患（15,133 円）、②内分泌、栄養及び代謝疾患（14,370 円）、③消化器系の疾患（14,199 円）の順に高い。（52 頁表-49 ～ 54 頁表-51）

組合健保との差が最も大きい疾患について、年齢構成の影響を除くと次のとおりである。

区 分	疾病分類	1 人当たり医療費			年齢構成を揃えた 1 人当たり医療費		
		全国土木	組合健保	差（率）	全国土木	組合健保	差（率）
入 院	内分泌、栄養及び代謝疾患	4,228 円	737 円	3,491 円 (473.3%)	3,265 円	737 円	2,528 円 (342.8%)
入院外	消化器系の疾患	8,520 円	5,127 円	3,393 円 (66.2%)	7,398 円	5,127 円	2,271 円 (44.3%)

○令和 3 年度の前期高齢者の疾病分類別 1 人当たり医療費は、医科入院は「循環器系の疾患」（45,139 円）、医科入院外は「内分泌、栄養及び代謝疾患」（30,662 円）が最も高い。（55 頁表-52）

組合健保との差が大きい上位 3 疾患は次のとおりである。

疾病分類	入 院			疾病分類	入 院 外		
	全国土木	組合健保	差（率）		全国土木	組合健保	差（率）
総 数	155,517 円	144,381 円	11,136 円 (7.7%)	総 数	191,981 円	176,921 円	15,060 円 (8.5%)
新生物	25,995 円	43,608 円	△17,613 円 (△40.4%)	消化器系の疾患	22,713 円	10,606 円	12,107 円 (114.2%)
内分泌、栄養及び代謝疾患	17,744 円	2,334 円	15,410 円 (660.3%)	新生物	25,589 円	36,080 円	△10,491 円 (△29.1%)
循環器系の疾患	45,139 円	36,795 円	8,344 円 (22.7%)	循環器系の疾患	20,876 円	30,779 円	△9,903 円 (△32.2%)

○令和 3 年度の前期高齢者の入院医療費の疾病分類別新 3 要素分析をみると、100 人当たり新規入院件数は「循環器系の疾患」（2.12 件）が最も多く、1 入院当たり医療費は「循環器系の疾患」（213.1 万円）が最も高い。（56 頁 図-74）

各指標において、組合健保との差が大きい上位 3 疾患は次のとおりである。

疾病分類	100 人当たり新規入院件数			疾病分類	平均在院日数		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
新生物	1.78 件	4.20 件	△2.42 件	損傷、中毒及びその他の外因の影響	14 日	23 日	△9 日
内分泌、栄養及び代謝疾患	2.01 件	0.33 件	1.68 件	眼及び付属器の疾患	10 日	4 日	6 日
他に分類されないもの	0.96 件	0.08 件	0.88 件	消化器系の疾患	14 日	8 日	6 日
疾病分類	1 入院当たり医療費			疾病分類	1 日当たり医療費		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
筋骨格系及び結合組織の疾患	82.4 万円	155.7 万円	△73.3 万円	循環器系の疾患	161,044 円	85,774 円	75,270 円
眼及び付属器の疾患	97.2 万円	39.2 万円	58.0 万円	新生物	151,025 円	75,899 円	75,126 円
循環器系の疾患	213.1 万円	155.9 万円	57.2 万円	損傷、中毒及びその他の外因の影響	110,446 円	48,663 円	61,783 円